

尾島図書館だより

No.163 2017 5. 5 太田市立尾島図書館

おーい、龍馬!



没後150年

幕末の志士、坂本竜馬（1835～67）が、没して150年。
黒船ペリー来航、開国、尊皇攘夷、動乱の明治の先駆けとして、日本史を駆け抜けていった男…。慶応三年（1867）11月16日、龍馬絶命。
「没後150年 坂本龍馬」展が、江戸東京博物館で開催されます。
龍馬ゆかりの品々が並び、展示のメインは龍馬の手紙。また暗殺時を物語る品も。興味のある方は、ぜひお出かけ下さい。 6月18日まで。

夢を追いかけて人生を駆け抜けていった男たち。道なかばでたおれても、その生き方は心うたれるもの、ひびくものがあります。戦国時代の武将、幕末動乱の志士…。彼らを描いた小説やドラマが人気のあるのもうなずけます。

今月は、「龍馬」をメインに幕末の本を集めてみました。

龍馬



- 龍馬がゆく（司馬遼太郎）
…龍馬ブームの火付け役といってもいい作品。いまだに人気のある本です。
- 龍馬奔る（山本一力）
…山本版龍馬伝。最近の時代小説の実力者による龍馬伝です。
- 龍馬（津本陽）
…ほかに「龍馬の油断」[商人龍馬]なども。
- 龍馬暗殺完結篇（菊池明）
…龍馬ゆかりの地から、33年の生涯を辿る。
- 坂本龍馬、京をゆく（木村幸比古）
- 検証龍馬伝説（松浦玲）
- ゆけ、おりよう（門井慶喜）
- 池田屋乱刃（伊藤潤）
- なかおかはどこぜよ（田島征三）

幕末



- 目からウロコの幕末維新（山村竜也）
- 幕末百話（篠田鉦三）
- 幕府歩兵隊（野口武彦）
- 長州奇兵隊（一坂太郎）
- 維新激動の300藩（別冊歴史読本）
- それぞれの明治維新（佐々木克）
- 黒船が見た幕末日本（P・B・ワイリー）
- 幕末学のみかた（アエラ）
- 幕末パノラマ館（野口武彦）
- 幕末（司馬遼太郎）



- 江戸が東京になった日（佐々木克）
- 明治という国家（司馬遼太郎）

『龍馬をめぐる人たち』の本

高杉晋作

世に棲む日々（司馬遼太郎）
春風伝（葉室麟）
風の如く・高杉（富樫倫太郎）
梅の花咲く（田中秀征）



桂小五郎

桂小五郎（古川薫）
桂の花（加野厚志）
木戸孝允（松尾正人）
醒めた炎（村松剛）

吉田松陰

吉田松陰（童門冬二）
風の如く・松陰（富樫倫太郎）
吉田松陰（田中彰）
松下村塾（古川薫）



伊藤博文

シュンスケ！（門井慶喜）
元老（伊藤之雄）
愛国者がテロリストになった日
（早坂隆）
伊藤博文暗殺事件（大野芳）



後藤象二郎

レンズが撮らえた
幕末の写真師上野彦馬の世界
幕末維新陰の参謀（童門冬二）

武市半平太

武市半平太伝（松岡司）

岡田以蔵

人斬り以蔵（司馬遼太郎）
幕末（司馬遼太郎）
正伝岡田以蔵（松岡司）

中岡慎太郎

中岡慎太郎（嶋岡晨）
龍馬史（磯田道史）

岩崎弥太郎

龍馬と弥太郎（童門冬二）
小説岩崎弥太郎（嶋岡晨）
岩崎弥太郎伝（太田尚樹）



山岡鉄舟

命もいらす名もいらす（山本兼一）
三舟、奔る！（仁木英之）
鉄舟随感録（山岡鉄舟）

西郷隆盛

巨眼の男（津本陽）
翔ぶが如く（司馬遼太郎）
武士の碑（伊藤潤）
南洲残影（江藤潤）



勝海舟

勝海舟（子母澤寛）
海の夜明け（白石一郎）
三舟、奔る！（仁木英之）
かまさん（門井慶喜）
勝海舟と福沢諭吉（安藤優一郎）



徳川慶喜

TOKUGAWA 15（堀口菜純）
徳川慶喜家によろこそ（徳川慶朝）
最後の将軍（司馬遼太郎）
徳川慶喜と渋沢栄一（安藤優一郎）



高山彦九郎

彦九郎山河（吉村昭）
高山彦九郎の実像（あさお社）
明治維新の先導者・高山彦九郎（正田喜久）
江戸中期の尊皇思想家、王政復古の先駆者。
その思想・行動は、吉田松陰はじめ、幕末の
志士と呼ばれる人たちに大きな影響をあた
えた。

※幕末動乱の時代を生きた男たちの群像は、戦国武将たちと並んで
人気のある分野です。ここに掲げた本のほかにも所載しています。
お気軽にお問い合わせください。



正岡子規生誕 150 年展 ～ 神奈川近代文学館 3/25～5/21

『悟りということは、如何なる場合にも平気で生きている事』

※正岡子規の本も、ぜひどうぞ！

